MSCS で Workflow Automation をセットアップして高可用性を実現します

OnCommand Workflow Automation 5.0

NetApp
December 18, 2023

This PDF was generated from https://docs.netapp.com/ja-jp/workflow-automation-50/windows-install/task-configure-mscs-to-install-wfa.html on December 18, 2023. Always check docs.netapp.com for the latest.

目次

MSCS で Workflow Automation をセットアップして高可用性を実現します 1
Workflow Automation をインストールするように MSCS を設定します 1
Windows に OnCommand Workflow Automation をインストールします 2
MSCS で Workflow Automation を設定します 5

MSCS で Workflow Automation をセットアップして高可用性を実現します

Workflow Automation （ WFA ）を MSCS （ Microsoft クラスタサービス）環境にインストールして設定することで、ハイアベイラビリティ構成とフェイルオーバーを実現できます。WFA をインストールする前に、必要なすべてのコンポーネントが正しく設定されていることを確認する必要があります。

このタスクについて

ハイアベイラビリティ構成では、アプリケーションの運用が常にサポートされます。いずれかのコンポーネントに障害が発生すると、セットアップ内のミラーリングされたコンポーネントが処理を引き継ぎ、中断のないネットワークリソースを提供します。

Windows の WFA でサポートされているクラスタリング解決策 は MSCS だけです。

Workflow Automation をインストールするように MSCS を設定します

Workflow Automation （ WFA ）を Microsoft Cluster Server （ MSCS ）にインストールする前に、 MSCS 環境を設定する必要があります。

必要なもの

- MSCS はサーバマネージャからインストールする必要があります。
- オプション： SnapDrive for Windows をインストールする必要があります。

  サポートされる最小バージョンは、 Windows 2008 および 2012 です。
- 両方のクラスタノードで同じバージョンの WFA を同じパスにインストールする必要があります。
- 両方のクラスタノードを同じドメインに追加する必要があります。

このタスクについて

この作業は、 MSCS インターフェイスでクラスタマネージャを使用して実行する必要があります。

手順

1. ドメイン管理者として Cluster Manager にログインします。
2. 次のいずれかのオプションを使用して、両方のノードから LUN にアクセスできることを確認します。
   - LUN をネイティブで管理します。
   - SnapDrive for Windows を使用して、次の操作を実行
     i. 両方のノードに SnapDrive for Windows をインストールして設定します。
     ii. Windows 用の SnapDrive を使用して LUN を作成し、両方のノードでその LUN を設定します。
3. フェイルオーバークラスタマネージャで、クラスタにディスクを追加します。

Windows に OnCommand Workflow Automation をインストールします

OnCommand Workflow Automation （ WFA ）をインストールすると、環境で実行されるストレージタスクを自動化するためのストレージワークフローを作成およびカスタマイズできます。

必要なもの

- インストールの前提条件を確認しておく必要があります。

  Workflow Automation をインストールするための前提条件

- WFA を以前にインストールしたシステムからアンインストールしたあとに WFA をインストールする場合は、そのシステムに WFA サービスがないことを確認する必要があります。
- ネットアップサポートサイトから WFA インストーラをダウンロードしておく必要があります。
- Java の「自動アップグレード」機能を無効にする必要があります。

このタスクについて

- WFA を仮想マシン（ VM ）にインストールする場合、 VM の名前にアンダースコア（ _ ）文字を含めることはできません。
- ActiveState ActivePerl は、 WFA をインストールする前にインストールされます。

  このインストールは、 WFA サーバにインストールした ActivePerl の他のインスタンスには影響しません。

- MySQL をアンインストールした場合は、 WFA 4.2 以降を再インストールする前に、 MySQL のデータディレクトリを削除しておく必要があります。
- MySQL を独自にインストールする場合、 WFA は MySQL my.ini` ファイルの「 secure-file-privilege 」および「 sql-mode 」プロパティを空白に設定します。

手順

1. 管理者権限を持つアカウントで Windows にログインします。
2. エクスプローラを開き、インストールファイルが保存されているディレクトリに移動します。
3. WFA をインストールします。

   - 対話型インストール

     i. WFA インストーラの実行ファイル（ .exe ファイル）を右クリックし、 admin ユーザとして実行します。

     ii. 「 * 次へ * 」をクリックします。

     iii. デフォルトの admin ユーザのクレデンシャルを入力し、 * 次へ * をクリックします。

     デフォルトの admin パスワードは次の条件を満たしている必要があります。

     - 6 文字以上にする必要があります
     - 大文字の 1 文字

- 小文字を 1 文字使用します
- 1 つの数字
- 1 つの特殊文字 * 注： * admin ユーザのクレデンシャルをメモしておく必要があります。

iv. WFA 設定のポートを選択し、 * Next * をクリックします。

v. サイト名と会社名を入力し、 [次へ *] をクリックします。

サイト名には、たとえばピッツバーグの WFA インストール場所を含めることができます。

vi. デフォルトのインストール場所を変更する場合は、 WFA をインストールする場所を選択し、 * Next * をクリックします。

vii. WFA データベースのデフォルトの場所を変更しない場合は、 * Next * をクリックします。

viii. インストールを続行するには、 * Install * をクリックします。

ix. [完了] をクリックしてインストールを完了します。

x. 次のいずれかを実行して、 WFA が正常にインストールされたことを確認します。

- Web ブラウザを使用して WFA にアクセスします。
- Windows サービスコンソールを使用して、 NetApp WFA Server サービスと NetApp WFA Database サービスが実行されていることを確認します。

◦ サイレントインストール（コマンドプロンプトから）： +`WFA-version_number-build_number.exe /s /v" wfa_admin_username=wfa_Admin_password=password wfa_admin_mysql_password=confirm admin password/wfa_mysql_pass=password confirm password wfa_install_site=site wfa_install_organization =site WFA_install_organization =organization q_port=wfa_install_port\q_port=WFA_install_directory=wfa_install_admin_admin_password=wfa_install_admin_admin_password=WFA_admin_password=WFA_install_admin_install_install_password=WFA_directory=WFA_install_directory=wfa_install_admin_admin_install_install

- 例 *

「 WFA-x64-v4.2.0.0.0-B2973881.exe /s /v 」 wfa_admin_username=admin wfa_admin_username=Company * 234 wfa_admin_confirm_password=Company * 234 wfa_mysql_pass=mysql * 234 wfa_install_site=nb wfa_install_organization = nb wfa_install_HTTP ポート =admin wfa_http_port_port=admin WFA\WFA\qr ディレクトリ \qr Program \qr\WFA\HTTPS\WFA\WFA\HTTPS\WFA\HTTPS\WFA\WFA\HTTPS\WFA\WFA\HTTPS\WFA\WFA\WFA\WFA\WFA\WFA\WFA\WFA\HTTPS\WFA\WFA\WFA\WFA\WFA\WFA\WFA\WFA\WFA\WFA\WFA\WFA\WFA\WFA\WFA

/qn オプションは、 WFA ではサポートされません。

コマンドパラメータは次のとおりです。

パラメータ	説明
wfa_admin_username	管理ユーザ名 オプションのパラメータ。値を指定しない場合は、デフォルト値の admin が使用されます。

パラメータ	説明
wfa_Admin_password	管理ユーザのパスワード 必須パラメータ。デフォルトの admin パスワードは次の条件を満たしている必要があります。 • 6 文字以上にする必要があります • 大文字の 1 文字 • 小文字を 1 文字使用します • 1 つの数字 • 1 つの特殊文字
wfa_Admin_confirm_password	管理ユーザのパスワード 必須パラメータ
wfa_mysql_pass	MySQL ユーザのパスワード 必須パラメータ
CONFIRM_wfa_mysql_pass	MySQL ユーザのパスワード 必須パラメータ
wfa_install_site	WFA をインストールしている組織単位必須パラメータ
_wfa_install_organization _	WFA をインストールする組織または会社の名前 必須パラメータ
*wfa_http_port_*	HTTP ポートオプションパラメータ。値を指定しない場合は、デフォルト値の 80 が使用されます。
wfa_HTTPS_PORT	HTTPS ポートオプションパラメータ。値を指定しない場合は、デフォルト値 443 が使用されます。
_ インストール _	インストールディレクトリのパス オプションのパラメータ。値を指定しない場合は、デフォルトパス「 C ： \Program Files\NetApp\WFA\" 」が使用されます。

◦ 関連情報 *

"ネットアップサポート"

MSCS で Workflow Automation を設定します

MSCS （ Microsoft クラスタサーバ）に Workflow Automation （ WFA ）をインストールしたら、設定スクリプトを使用して MSCS でハイアベイラビリティを実現するように WFA を設定する必要があります。

必要なもの

WFA のバックアップを作成しておく必要があります。

手順

1. MSCS クラスタの最初のノードにログインし、次の手順を実行します。

用途	手順
Windows Server 2012	a. フェイルオーバークラスタマネージャで、 * サービスロール * を右クリックします。 b. [空のサービスロールの作成 *] を選択し、ロールの名前を「 wfa 」に変更します。 c. 新しく作成した「 wfa 」ロールに IP アドレスリソースを追加します。 i. フェイルオーバー・クラスタ・マネージャで、新しく作成した「 wfa 」ロールを右クリックします。 ii. [* リソース * > * その他のリソース * > * IP アドレス *] を選択します。 iii. クラスタの IP アドレスを設定
Windows 2008 の場合	a. フェイルオーバークラスタマネージャで、 [* サービスとアプリケーション *] を右クリックします。 b. [その他の操作 **>*Create Empty Service or Application**] をクリックし、サービスの名前を「 WFA 」に変更します。 c. 新しく作成した「 wfa 」サービスに IP アドレスリソースを追加します。 i. フェイルオーバークラスタマネージャで、新しく作成した「 wfa 」サービスを右クリックします。 ii. [* リソースの追加 * > * その他のリソース * > * IP アドレスの追加 *] を選択します。 iii. クラスタの IP アドレスを設定

2. コマンドプロンプトで、「 ha_setup.pl 」スクリプトを実行して WFA データを共有の場所に移動し、フェイルオーバーのために MSCS で WFA を設定します。「 perl ha_setup.pl --first [-t type_of cluster_vcs] [-g cluster_group_name][-i ip_address_resource_name] [-n cluster_name] [-k shared_disk] [-f

   このスクリプトは、「 wfa_install_location \ wfa \bin\ha\ 」にあります

   ◦ 例 *

   perl ha_setup.pl — first-t MSCS -g WFA -i " クラスタ IP アドレス " -n wfa_cluster -k " クラスタディスク 2" -f E: \

3. MSCS リソースが作成されていることを確認します
4. フェイルオーバークラスタマネージャから WFA サービスを停止します。

用途	手順
Windows Server 2012	a. 「 * Service Roles * 」を選択し、新しく作成した「 WFA 」ロールを選択します。 b. リソースペインで、 * na_wfa_db * を右クリックし、 * オフラインにする * を選択します。 c. リソースペインで、 * na_wfa_SRV* を右クリックし、 * オフラインにする * を選択します。
Windows 2008 の場合	a. 「 * サービスとアプリケーション * 」を選択し、新しく作成した「 wfa 」サービスを選択します。 b. その他のリソースペインで、 * na_wfa_db * を右クリックし、 * このリソースをオフラインにする * を選択します。 c. その他のリソースペインで、 * na_wfa_SRV* を右クリックし、 * このリソースをオフラインにする * を選択します。

   WFA データベースサービスと WFA サーバサービスをオフラインにする必要があります。WFA のサービスを Windows サービスから停止しないでください。

5. WFA リソースをセカンダリノードに手動で移動します。
6. 共有ディスクに 2 つ目のノードからアクセスできることを確認します。
7. コマンドプロンプトで、クラスタのセカンダリノードで「 ha_setup.pl 」スクリプトを実行し、共有の場所からのデータを使用するように WFA を設定します。「 perl ha_setup.pl --join [-t type_of _cluster_MSCS] [-f shared_drive_path] 」

   「 ha_setup.pl 」スクリプトは、「 wfa_install_location 」「 wfa 」「 bin 」「 ha 」にあります

   ◦ 例 *

   `perl ha_setup.pl — join-t MSCS -f E:

8. フェイルオーバークラスタマネージャから、 WFA リソースをオンラインにします。

用途	手順
Windows Server 2012	a. 新しく作成した「 wfa 」ロールを右クリックし、「 Start Role 」を選択します。ロールのステータスは running である必要があります。また、個々のリソースは Online 状態である必要があります。
Windows 2008 の場合	a. 新しく作成した「 wfa 」サービスを右クリックし、「 * このサービスまたはアプリケーションをオンラインにする * 」を選択します。サービスのステータスは「 running 」でなければなりません。また、個々のリソースは「 Online 」状態でなければなりません。

9. MSCS クラスタの 2 つ目のノードに手動で切り替えます。
10. クラスタの 2 つ目のノードで WFA サービスが正常に開始されることを確認します。

著作権に関する情報

Copyright © 2023 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および / または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータ ソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用権を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用権については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、http://www.netapp.com/TMに記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。